

平成20年度一般会計当初予算額

【安心】豊かな天然自然・磨き輝き戦略

(単位：千円)

事業名	平成20年度 当初予算額 (19年度7月 現計予算額)	当初予算額の概要	所管課
1 (特) 水環境保全活動ネットワーク化促進事業	4,500 (0)	アジア・太平洋水サミット開催を契機として、環境保全活動に対する意識をさらに高めるとともに、大学・NPO・企業などによる水に関する知の集積と情報発信のため、記念講演会の開催や次世代を担う青少年を対象とした環境活動等を実施する。	政策企画課
2 (特) 地球にやさしいマイバッグ運動推進事業	3,000 (0)	持参率が向上してきたマイバッグ運動の取組を進めるため、事業者・消費者団体・行政等関係者が協働したレジ袋削減の取組を推進する。 ・レジ袋削減に向けた新たな仕組づくりのための検討会議を設立 ・事業者の数値目標や県・消費者の役割を示した協定を締結 ・共通スタンプカードによるレジ袋削減の推進	ごみゼロおおい推進室
3 ストップ地球温暖化対策事業	9,077 (7,973)	CO2排出量の削減の取組を一層進めるため、家庭・業務・運輸各部門における地球温暖化対策の普及啓発を推進する。 【特】家庭での電気節約等の省エネ行動によるCO2削減量の仮想ファンドへの積み立て量に基づき、森林づくり活動等を実施する。 【特】事業者等の省エネ行動によるCO2削減量を認証する制度を創設する。	生活環境企画課
4 (特) 自然公園エコツアーリズム推進事業	1,418 (0)	自然公園の保護と観光・地域資源としての活用を両立させるワイズユースを普及するため、トレッキングや自然観察ツアーなどに必要な歴史文化や自然保護のマナーなどの知識を備えたエコツアーリズムガイドの養成研修を行う。	景観自然室
5 森林吸収源対策事業	2,245,967 (1,306,143)	CO2削減対策として本県には24年度までに8万4千haの間伐等の森林吸収源対策が求められているため、19年8月に策定した「大分県森林吸収量確保推進計画」に基づき森林整備を行う。 ・(公)造林事業 ・(公)治山事業 ・(公)荒廃人工林緊急整備事業(森林環境税活用事業) ・循環型施業の森林づくり誘導事業	林務管理課
6 (新) 森林体験学習促進事業 (森林環境税活用事業)	1,860 (0)	児童生徒の森林に対する興味や関心を高め、森林環境の保全に対する意識の醸成を図るため、外部人材を活用した小・中学校における森林観察などの体験学習や森林環境保全活動を実施する。	義務教育課
7 森林環境保全推進事業 (森林環境税活用事業)	307,000 (296,000)	森林の有する公益的機能の保全や森林を守り育てていく県民意識の醸成を目的として徴収する「森林環境税」を基金に積み立て、税導入の趣旨に沿った各種事業を実施する。	森との共生推進室
8 森林づくりボランティア推進事業 (森林環境税活用事業)	24,578 (22,388)	NPO等の森林ボランティア活動を推進するため、地域通貨(エコマネー「めじろん」)等を活用し、県内各地域における森林づくり活動を支援する。 【新】地域とNPO等が協働して行う森林づくりに対し助成する。 【新】企業が行う、森林づくりのCO2吸収量を認証する制度を創設する。	森との共生推進室
9 森と海をつなぐ環境保全推進事業 (森林環境税活用事業)	7,000 (5,000)	NPOや自治会等が海岸に漂着した流木等を処理する活動に対し助成する。 台風等により上流域から漁港や港湾などに流入し、滞留する流木等を迅速に処理するため、県漁業協同組合に対し助成する。 【新】漁具等に損害を与える漁場の流木処理に対し助成する。	廃棄物対策課 漁業管理課
10 森のなかよし小路づくり推進事業 (森林環境税活用事業)	23,158 (23,158)	児童生徒の安全確保と身近な森林環境の改善を図るため、小中学校の通学路沿いの手入れが行き届いていない竹林の伐採・整理などを行う市町村に対し助成する。	森との共生推進室

※ (特) は「おおい挑戦枠事業」、(新) は「新規事業」、(枠) は「部局枠事業」

平成20年度一般会計当初予算額

【安心】豊かな天然自然・磨き輝き戦略

(単位：千円)

事業名	平成20年度 当初予算額 〔19年度7月 現計予算額〕	当初予算額の概要	所管課
11 野生鳥獣との共生総合対策事業	71,465 (68,341)	イノシシ、シカ、サル等の野生鳥獣による農林作物被害の軽減を図るため、集落全体で行う被害対策活動を支援するなど、予防・捕獲対策を推進する。 ・金網柵、ネット柵、集落共同防護柵等の設置に対し助成 ・捕獲報償金の拡充(4,090頭 → 5,000頭)	森との共生推進室
12 (特) 鳥獣被害自衛対策強化事業	2,428 (0)	イノシシ、シカ、サル等の野生鳥獣による農林作物被害の軽減を図るため、集落全体で行う被害対策活動を支援する鳥獣対策アドバイザーを育成し、集落に派遣する。	森との共生推進室
13 (新) 森林シカ被害防止対策事業 (森林環境税活用事業)	3,050 (0)	シカによる森林被害の軽減を図るため、使用済漁網を活用した防護柵を設置する森林所有者に対し助成する。	森との共生推進室
14 (公) 造林事業 (うちシカ被害対策)	36,037 (33,566)	【新】シカによる森林被害の軽減を図るため、(公)造林事業を活用してシカ防護柵の設置を行う森林所有者に対し補助率を嵩上げて助成する。 (補助率 68% → 86%)	森林整備室
15 産業廃棄物適正処理推進事業 (産業廃棄物税活用事業)	269,000 (315,000)	産業廃棄物税について、適正管理を行うとともに、用途の明確化を図るため、産業廃棄物税基金への積立てを行う。	廃棄物対策課
16 廃棄物不法投棄防止対策事業 (産業廃棄物税活用事業)	199,615 (121,513)	廃棄物の適正処理を推進するため、不法投棄廃棄物の撤去を行うほか産業廃棄物処理施設の計量器設置に対し助成する。 【新】海岸漂着ごみなどの廃棄物の撤去活動を行う市町村に対し助成する。 【新】不法投棄の再発防止を図るため、不法投棄再発防止重点地区を定め、監視カメラや高壁型フェンスを設置する。	廃棄物対策課
17 リサイクル施設等整備支援事業 (産業廃棄物税活用事業)	20,000 (20,000)	「廃棄物処理計画」に掲げる減量化目標を達成するため、排出事業者が設置するリサイクル施設等の機器整備に対し助成する。	廃棄物対策課
18 産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業 (産業廃棄物税活用事業)	47,750 (38,750)	産業廃棄物処理施設設置者、住民、行政で構成する協議会を設置し、周辺住民の不安解消を図る。(9箇所) 協議会における合意等に基づき、市町村又は施設設置者が実施する処理施設周辺の環境整備や周辺住民の利便に供する施設整備等に対し助成する。(8箇所)	廃棄物対策課
19 県外産業廃棄物対策事業	101,292 (79,067)	県外産業廃棄物の適正な処理を推進するため、産業廃棄物適正化条例に基づく協定を締結した県外排出事業者から納付される環境保全協力金を基金に積み立てる。 基金を活用し、県外排出事業者への立入調査、県外産業廃棄物受入施設の水质検査等を実施する。	廃棄物対策課
20 離島漁業再生支援交付金事業	26,684 (40,136)	漁村の持つ多面的機能を維持するため、集落機能の維持に不利な条件を抱えた離島における漁業再生活動を支援する。 (姫島、津久見市地無垢島、佐伯市大入島)	農山漁村・担い手支援課

平成20年度一般会計当初予算額

【安心】豊かな天然自然・磨き輝き戦略

(単位：千円)

事業名	平成20年度 当初予算額 〔19年度7月 現計予算額〕	当初予算額の概要	所管課
21 ① きれいな川づくり推進事業	3,627 (0)	<p>河川への愛着を深め、良好な河川環境の保全を図るため、河川敷の草刈りに加え、ゴミ拾いや花壇作りなどの美化活動を合わせてNPO等に委託するリバーフレンド制度を導入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施箇所 大野川水系、丹生川水系 ・内容 草刈りの労力を軽減するため歩行型草刈り機を貸与 小学生等を対象とした水辺の勉強会を開催 	河川課
22 道路愛護ボランティアサポート事業	15,721 (15,721)	<p>道路愛護精神を育み、良好な道路環境の保全を図るため、草刈りなどのボランティア活動を継続的に行う地域の団体を育成・支援する。</p> <p>【新】国体開催年度の取組として、県管理道路沿いのプランター設置や花植え等の美化活動を支援し、おもてなしの気運を高める。</p>	道路整備促進室